

(2) 学校教育自己診断アンケートの結果（令和2年度）

1. 児童回答数 371名〔アンケート回収率 95.4%（在籍児童数 389名）〕
 【アンケート実施期間 11月20日～12月4日】
2. 保護者回答数 336名〔アンケート回収率 86.4%〕
 【アンケート実施期間 11月20日～12月4日】

- * 「肯定的回答」…… 「思う」 + 「少し思う」 の回答を合わせたもの
 * 「否定的回答」…… 「あまり思わない」 + 「まったく思わない」 の回答を合わせたもの

【 児童アンケートより 】

- ※ 肯定的回答が、90%を超えた項目 43項目中、17項目〔39.5%（－7.0ポイント）〕
 肯定的回答が、80%を超えた項目 43項目中、31項目〔72.1%（－2.3ポイント）〕

(1) 肯定的回答「思う」 + 「少し思う」が多かった項目

	項 目	肯定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	先生たちは、勉強でわからないところを教えてくれる。	95.1	+ 0.7
2	クラブ活動は、楽しい。	94.9	+ 3.9
3	先生たちは、意見や考えを大切にしてくれる。	94.1	+ 0.4
4	担任の先生の授業は、わかりやすい。	93.8	－ 0.1
5	先生たちは、いつでも相談にのってくれる。	93.5	+ 2.1

【肯定的回答が80%を超えた項目は31項目でした】

設定いたしました43の質問項目の70%強の項目で、肯定的回答が80%を超える結果となりました。これは、前年度とほぼ同じ結果です。90%を超えた項目は前年度より3項目減少しました。そのような中でも、特に高い結果となった5つの項目を上に表示しています。

この5項目を見てみると、「先生は」・「先生たちは」という言葉が含まれている項目が多いことがわかります。「授業がわかりやすい」・「勉強でわからないところを教えてくれる」や「意見や考えを大切にしてくれる」・「いつでも相談にのってくれる」など、教員と児童との関係が良好であり、子供たちから信頼されていることも感じられ、うれしく思います。今後とも、さらなる改善を心がけてまいります。

【「宿題をしている」と答えた児童の割合が少し減少しています】

もし、ご家庭でお子様の学習の様子を観ておられて、わかりにくいとお感じになる点や気になられることがありましたら、まず、お子様に「先生に聞いてみたら」と声をかけてみてください。もちろん、保護者の方から担任などに、ご連絡・ご相談いただいてもかまいません。保護者の皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

(2) 否定的回答「あまり思わない」 + 「まったく思わない」が多かった項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	家で、学校の授業の復習をしている。	41.1	－ 1.5
2	家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	36.4	+ 0.5

(3) 否定的回答「あまり思わない」＋「まったく思わない」が20%以上の項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	自分には、良いところがあると思う。	28.1	＋ 4.5
2	地域や社会を良くするために、何をすべきかを考えることがある。	23.4	－ 3.3
3	授業の中で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたり することができている。	22.7	＋ 4.2
4	しっかりとあいさつができている。	21.3	－ 0.6
5	授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	20.6	＋ 0.8
6	落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。	20.4	＋ 4.2

【家庭での学習の状況や授業にも課題が見られます】

否定的回答の割合が30%を超えたのは2項目でした。学校で学習したことを身につけていくためには、家庭での復習は言うまでもなく大切なことです。漢字や計算の宿題でも、ある程度の復習はできることと思いますが、それだけでは十分ではありません。計画を立てて勉強することや自学自習も含め、勉強に意欲をもって取り組むことや習慣づけていくことは、すぐにできることではありません。学校としましても、これまでも指導してまいりました宿題や授業の復習のやり方、学習計画の立て方、自学自習ノートへの取り組み方などにつきましては、指導や支援をいっそう進めてまいります。

また、今年度の6年生は2学期から、その他の学年でも3学期から一人一台のタブレットが導入されました。学校の授業ではもちろんのこと、家庭学習でも活用できるように課題などの工夫をしてまいります。また、ご家庭でもスマホやゲーム・テレビ等に費やす時間についての「ルール」を決めるなどして、お子様が学習に向かうための環境づくりをお願いいたします。学校とご家庭との連携には、保護者の皆様のご理解・ご協力が欠かせません。学校は、今後とも子どもたちへの指導・支援はもちろんのこと、引き続き、ご家庭にも必要な情報の発信やご連絡などをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、授業におきましても「話し合う活動による考えの深まり」・「落ち着いた雰囲気の中の授業」などの点に課題が見られます。学校としましても、教員の授業力や学級経営力を向上させて、授業改善に積極的に取り組んでいく必要があります。子どもたちの学力を高めていくためにも、整然とした学習環境の中で、しっかりと課題に取り組み、深い学びにつないでいけるように努めてまいります。

【自己肯定感を高めるためにできること】

日本の子どもたちは、外国の子どもたちと比べて「自己肯定感」や「自己達成感」が低いとよく言われていますが、本校の子どもたちも例外ではありません。「何をすべきかを考える」・「自分には良いところがある」の項目に対する否定的回答が、残念ながら少なくありません。また、「自己肯定感」や「自己達成感」と学力は密接に関係しているとも言われています。

学校では、今後も子どもたちの頑張りや結果も大切にしながら、その取り組みの過程にしっかりと目を向けて、成功体験や達成感を味わわせる機会を増やしていきたいと考えています。ご家庭におきましても、お子様の家庭での生活や学習の中での頑張りにも目を向けていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【 保護者アンケートより 】

※ 肯定的回答が、90%を超えた項目 44項目中、14項目 [31.8% (－ 3.6ポイント)]

肯定的回答が、80%を超えた項目 44項目中、37項目 [84.1% (－ 1.3ポイント)]

(1) 肯定的回答「そう思う」＋「ややそう思う」が多かった項目

	項 目	肯定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	学校は、子どもや保護者のプライバシーに配慮している。	94.5	－ 0.5
2	学校諸費（学年費等）の内容・金額は適切である。	93.4	－ 3.2
3	5・6年の家庭科の授業はわかりやすいと言っている。	92.8	＋ 2.9
4	子どもは、担任の授業はわかりやすいと言っていて、先生もわかりやすい授業づくりに努力している。	92.6	＋ 3.8
5	子どもは、「学習のきまり」をしっかり守るように指導されていると思っている。	92.3	＋ 5.7

【いろいろな取り組みに対して高い評価をいただきました】

今年度、肯定的回答が80%を超えた項目が37項目あり、前年度とほぼ同じ割合です。これにつきましては、保護者の皆様から、一定の評価をいただいたものと考えます。その項目の内容もさまざままで、学校が行っているいろいろな取り組みに対してご理解とご協力をいただいているということが、よくわかりました。

そのような中でも、特に高い結果となった5つの項目を上に示しています。授業に関するものは前年度に比べて上昇しており、それ以外の個人情報や学校諸費に関わる項目につきましてもご理解をいただいています。授業参観やPTA学年行事などの取り組みでは、例年、多くの保護者の方にご参加をいただけてまいりました。しかし、残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、例年のように活動や取り組みを行うことができませんでした。今後、社会の状況・情勢が改善されました際には、さまざまな取り組みを積極的に行いたいと考えておりますので、保護者の皆様のご支援・ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

(2) 否定的回答「あまりそう思わない」＋「そう思わない」が多かった項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	子どもは家で、学校の授業の復習をしている。	73.2	＋ 7.1
2	子どもは家で、自分で計画を立てて勉強している。	67.0	＋ 4.6
3	子どもは家で、読書をしている。	58.8	－ 2.8
4	子どもは家で、勉強の時間を決めている。	50.0	＋ 5.3

(3) 否定的回答「あまりそう思わない」＋「そう思わない」が20%以上の項目

	項 目	否定的 回答(%)	前年度比 (ポイント)
1	3・4年の音楽科の授業はわかりやすいと言っている。	24.2	＋16.1
2	子どもは、将来の夢や目標をもっている。	24.1	＋ 5.4

【家庭学習の状況に課題がみられます】

否定的回答が50%を超えた項目が4項目ありました。これらは家庭での学習に関わる項目でした。読書に関しましては改善されてきていますが、「授業の復習」・「計画を立てて勉強する」・「勉強の時間を決めている」などといった家庭学習においてとても大切な項目が並んでおり、心配される状況です。学校としましても、子どもたちに対して家庭での学習につきましては、これまで以上に積極的に働きかけを行うとともに、家庭学習の課題や取り組み方などについて、さらに工夫や指導を重ねてまいりますので、よろしくお願いいたします。

保護者の皆様をご覧になられていますお子様の家庭学習の状況はいかがでしょう。テレビやス

マホ(インターネット・SNSなど)、ゲームをしたりする時間も大きく関係していることが考えられます。勉強する時間を決めていないことで、生活のリズムの乱れや宿題を忘れることにもつながります。これまで以上にご家庭での「ルール」についてご家族全員で相談して決めていただき、家族全員が「ルール」を守って生活していただくためにも、あらためてご家族でお話をする時間を作っていただきますよう、お願いいたします。

基礎的・基本的な学力の定着はもちろん、学校で学んだことを発展的な学習につないで、主体性や学習意欲を高めるためには、家庭学習はとても大切です。学校では今後ともご家庭との連携を図りながら、子どもたちにも働きかけてまいります。保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

【読書をする児童は増えてきています】

読書は、子どもたちの豊かな感性や情緒、言語能力を育むものとして高い効果があります。学校では国語科の授業や図書時間はもちろん、休憩時間にも図書室を開放したり、学級文庫や渡り廊下に置いている本を増やしたりして、本に触れる機会を多くするようにしています。ご家庭でも、学校からの本の貸し出しだけでなく、市立図書館の利用も含めた本に親しむ機会を増やしていただければと思います。今後も引き続き、保護者の皆様のお子様への声かけ、働きかけをよろしくお願いいたします。

【 保護者アンケート 自由記述より 】

※自由記述欄にお書きいただきました主なご意見に関しましての回答を掲載させていただきます。
(内容が共通すると考えたものにつきましては、まとめさせていただいております。)

< 学習指導について >

- * タブレットの宿題には楽しく取り組んでいたが、漢字の練習などは鉛筆でノート等を書くようにしてほしい。
- * 放課後に宿題やわからないことを聞ける時間を設けていただき、ありがたい。
- * 居残りも進んでするし、宿題を終わらせようとわからないときは先生が教えてくださる。感謝しかありません。

本校では、放課後自習教室として「SGK(招提学習教室)」を行っています。学校としましては子どもたちに、放課後に「学びの場」を提供することも、学力向上に向けた大切な取り組みの一つだと考えております。また、週に1回「放課後サポートDay」を実施しています。基礎的・基本的な学力の向上を大きな目的として、各学級で教員が学習指導を行っています。その際には、学習に向かう意欲づけのために宿題に取り組むことから学習を進めていることもあります。今後とも、基礎的・基本的な学力の向上と定着や自主的に学習に向かう意欲の喚起など、学力向上に向けた取り組みや授業改善に努めてまいります。

< 生活指導について >

- * 放課後の運動場開放の時、学校まで遠いので自転車もOKにしてほしい。
- * 放課後の運動場開放を利用しやすくしてほしい。
- * あいさつがしっかりできるとより良いと思う。
- * その学年にあった納得のできる方法や話し方、取り組み方で、勉強や友達との関わり方などについて、取り組みを行ってほしい。
- * 問題が起きた時には担任任せにしないできちんと対応してほしい。
- * 外国籍の子どもたちもみんなと仲良く過ごしていけるような配慮をしてほしい。

本校では、放課後、子どもたちがいったん下校した後、学校に遊びに来ることができるようにと運動場を開放していますが、もし自転車で学校へ来ることになると、どうしても行き帰りの道

中での安全面が大いに心配・懸念されます。また、乗ってきた自転車の管理面における課題も発生します。放課後に学校へ遊びに来る時や、忘れ物などを取りに来る時につきましても、そのような点を踏まえまして、自転車には乗って来ないように指導しておりますので、ご理解の上で、ご家庭でもご指導をしていただきますようよろしくお願いいたします。

学校では、授業などの学習に関する取り組みを行うことはもちろんですが、あいさつなどを含めた基本的な生活習慣や、人と人とのつながり、関わりに関する学習にも積極的に取り組みを進めております。人権教育では、「集団づくり」・「障がい者理解」・「多文化共生」・「平和」・「いじめ」などに関する学習を、道徳教育では、道徳科の授業を中心にして、「善悪の判断」・「思いやり」・「規則の尊重」・「生命の尊さ」などの学習に取り組んでいます。

しかしながら、学校では子どもたちの間におけるトラブルが起こっていることも事実です。そのようなことがあった時には、子どもたちに直接話を聞いた上で、指導を行っています。また、いじめなどの問題行動につきましても、定期的にアンケートを行い、アンケート実施後には子どもたちの話を聞いて確認しています。そして、ご家庭との連携を強化しながら、児童の心を育む取り組みを進め、いじめや暴力の根絶に取り組んでまいります。ご家庭でもお子様に気になることがあると感じられましたら、早めに学校までご連絡ください。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

< 学校行事について >

- * 参観は数日に分けて、1日にまとめてもらう方がよい。
- * 土曜日の参観をおこなってほしい。
- * 卒業式の際の衣装についてはその場にあったものとなるよう学校からの手紙があるとよいと思う。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、参観や懇談会につきましても、例年のように実施することができませんでした。また、その実施方法や内容につきましても、多くの条件や制限のもとで行うこととなり、誠に申し訳ございませんでした。今後も、社会の状況・情勢の変化に応じまして、保護者の皆様のご意見なども踏まえつつ、よりよい形での実施を考えてまいります。よろしくお願いいたします。

< 登下校について >

- * 登下校時に学校の正門を出たか通過したか、保護者の携帯に連絡が行くようなシステムを入れてほしい。

保護者の皆様や地域の皆様には、いつも子どもたちの登下校の「安全見守り活動」にご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。今年度も登下校中に大きな事故やトラブルに巻き込まれたり、不審者による被害に遭ったりといった報告がほとんどなく、安堵しております。これも「見守り活動」のおかげかと存じます。

また、学校でも子どもたちの登校の様子で気になるところがある時には、個別に登校班を指導しております。また、地区児童会・集団下校時には指導を行い、児童集会において校長や生徒指導担当教員が交通安全・事故防止についての話もしております。学校といたしましては、今後ともPTA校外生活委員の方々とも連携を図りながら、引き続き交通安全、安全な集団登校、下校について指導をしてまいります。

なお、登下校時の学校の門を出入りする際に、保護者のスマホなどに連絡がなされるようなシステムの導入につきましては、引き続き枚方市教育委員会やPTAなどとも協議を行いつつ、検討してまいりたいと考えます。

< 新型コロナウイルス感染症関連 >

- * 新型コロナウイルスで大変だと思いが子どもたちに寄り添っていただきたく、お願いしたい。
- * 新型コロナウイルスに対する対処や指導をしっかりして、保護者を不安にさせないでほしい。
- * 近隣の小学校では遠足に行っているところもあったので、何か考えてほしい。

- * 一度もお弁当を持っていく機会がなくてかわいそうだと思う。
- * 5年生はキャンプに行かせてあげたかった。
- * 枚方市内の他校との行事の差をなくしてほしい。
- * 他市の小学校では、参観やオープンスクールはコロナ感染防止のため中止になっているが、コロナ対策をしつつ、行事を実施してもらっているのがありがたい。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな行事や取り組みを行うことができませんでした。そのような際に本校では可能な限り、児童の安全と健康を最優先に考えて、大阪府教育委員会ならびに枚方市教育委員会の指示にしたがい、取り組みを慎重に進めたり、変更や中止を決定してまいりました。その中には、学校といたしましても苦渋の選択・決断をしなければならぬことが多くありました。特に各学年の遠足や5年生のキャンプなどを始めとする校外に出て活動を行う行事です。その際には、子どもたちや保護者の皆様にもいろいろなお気持ちとお考えがあったことと存じます。ほんとうにご協力をいただきありがとうございます。また、同時にご心配をおかけいたしまして、申し訳ございませんでした。今後は、事情の許す限り、保護者の皆様にも丁寧にお知らせやご説明・ご連絡をするようにいたします。

また、運動会では、他校に比べていろいろな内容があり、見学もできてよかったとのお声もいただきました。今回いただきました保護者の皆様からのさまざまなご意見を参考にして、今後も取り組みを進めてまいります。ご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

< その他（学校の対応等を含む） >

- * トイレをきれいに数も増やしてほしい。
- * 歯磨きをみんなのできる時間がほしい。
- * ベルマークがどのように活用されているのか、情報を公開してほしい。
- * 保護者用のサイトなどで学校生活の様子を写真で見られるとより分かりやすいと思う。
- * オンライン環境をもっと整えてほしい。
- * アンケートの内容がわかりにくい。
- * アンケートに氏名を記入することが理解できない。学年別に分けたアンケートを作成すべきだ。
- * 手紙や文書の量が多い時もあるので、今後はメール配信等になれば助かる。
- * クラスの様子がわかるような、学級新聞などがあればうれしい。
- * 学級通信をよく発行してもらってありがたい。
- * P T A広報誌の写真が白黒だとわかりにくい。頑張っておられるのに残念だと思う。

以上のようなご意見もありました。今後ともこのようにいただきましたご意見をもとにして、さらなる学習や学校環境の改善に取り組み、検討を加えながら、保護者の皆様のご希望やご要望にお応えできますよう努めてまいります。今回もお忙しい中、アンケートへのご協力をいただき、ほんとうにありがとうございます。

また、その他にもいただきましたご意見の中には、学校にとりましても嬉しく、励みとなるものもたくさんありました。一部ですが、ご紹介させていただきます。

- * 感謝でいっぱいです。いつもありがとうございます。
- * 子どもは毎日楽しんで、学校に行っているのが、満足している。
- * いつもお世話になりありがとうございます。先生方には感謝しています。
- * とても安心している。

学校といたしましては、学校教育事自己診断アンケートの結果を真摯に受け止め、今後とも、改善あるいはさらなる取り組みの充実を図ってまいりたいと考えます。全教職員が丸となり、「チーム招提小」として、子どもたちの指導・支援に努めてまいりますので、今後とも保護者の皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。